

## NPO 法人ふくてっく 平成 24 年度 第 2 回理事会議事録

日時 平成 25 年 8 月 3 日（土） 10：05～12：07

場所 大阪市立社会福祉センター 3 階会議室  
大阪市天王寺区東高津町 12-10

出席状況報告 出席理事 和泉 小川 清水 杉浦 中北  
欠席理事 苅田 畑 ただし、いずれも委任状出席  
出席監事 秋岡 稲住  
オブザーバー参加 岡 古場

議長の選出、書記の指名

出席理事全員一致で、議長に小川理事長、書記は中北事務局長を指名

開会の宣言 小川理事長は議長席について 10：07 分、理事会の開会を宣言した。

議案 1 議事録署名人の指名

議長は、清水理事、和泉理事を議事録署名人に指名

2 平成 24 年度活動、決算報告

別紙総会資料と 7 月 13 日に開催した運営会議議事録に基づき  
順次に各担当理事から説明、協議をした。

### ①理事長総括

24 年度から、運営会議の位置づけを定めて、これを会員に開かれた議論の場としてきたが、その趣旨が十分に伝わっていなかった。

25 年度は、運営会議における会員意識の共有をさらに進めてゆきたい。  
理事長は、そのように述べ、理事会は理事長総括を全会一致で承認した。

### ②事務局報告

中北事務局長は、総会資料に沿って 24 年度の事務局活動を報告、理事会はこれを承認した。

最後に、理事長総括と重複すると前置きしつつ、運営会議の意味が会員に浸透していない状況について残念の意を示した。

すなわち、運営会議とは意思決定の場ではないながら、その合意は会の重い共通認識であるはずだが、一部会員の言動においては、まるでなかったことのように扱われ、また逆に自分には関われない最終決定であるかのように受け取られている節がある。

### ③木工活動

関係会員欠席のため、小川理事長が代わって、24 年度の活動と収益を報告した。この中で、近年ややもすると、電動工具に頼って“作品的できばえ”に偏重して、木工による子どもたちの自由な主体的創造力育成という原点がおろそかにされてきたので、これを反省して、ふくてっく木工の趣旨に戻りたい旨の説明があり、全会一致で承認した。

### ④福祉用具部

古場会員は、昨年 10 月以降の実質活動停止状況、および先の運営会議において休部を発議した経緯を説明。

全会一致でこれを承認して、福祉用具部の休部を承認、決定した。

#### ⑤住環境研究部会

畑理事をはじめ、関係会員不在のため、小川理事長が代わって報告。

先の運営会議等で、住宅改修については既にふくてっくの活動目的に位置付けず、たまたま依頼あった事案については、これを適宜所属会員に割り振って対応することになっている。住環境研究部会の現状は、畑会員主導による学習会として、ふくてっく会員に開かれている。

理事会は以上の報告を受けて、これを承認した。

出席理事から、24年度に奈良ホテルからの相談事があったが、その後の経緯について質疑があり、出席理事のうち当時、畑理事と共に関与した清水理事から、あの件については依頼者の思いは、建築家畑氏への個人的な相談の域であったもので、実のところふくてっくへの協力要請ではなかったようだ、その後の経緯は聴いていないとの説明があり、一同承認した。

#### ⑥研修部会

やはり関係会員不在につき、小川理事長が代わり、研修部会は専ら会員向けのパソコン教室に限定した活動に終始しており、それについても現実には、講師である苅田会員の都合に依存している旨、報告。理事会として承認。

事務局より、収支報告のスタイルについて開催日時ごとに表記するのではなく活動ごとにまとめるという主旨から言えば一行に表示すべきとの指摘があった。

小川理事長は、以上3部会・活動について、それぞれの状況は、このままでは活動体としての存続が危ぶまれる。一方で東大阪部会、こむねっと事業部会は、明確な目的性と計画性をもって活動展開する中、誰もが参加できる場が確保できてない状況があり、これを打破するために上記3部会・活動の要素を糾合して、東大阪・こむねっとに並ぶ第3の部会を創設することを検討したい旨提言した。出席理事・監事はこれを是として承認。

具体的な検討は、各部報告の後に議論することとした。

#### ⑦東大阪部会

清水理事が総会資料にそって説明。

内容については7/13運営会議との相違なく、一同承認。

#### ⑧こむねっと事業部会

中北理事から、資料に沿って報告。7/13運営会議からの追記として、「ロジックモデル短期目標の成果検証と中期計画の見直し」を加えた旨の説明があった。一同承認。

#### ⑨20周年記念事業検討会

清水理事から、資料に沿って報告があり、承認した。

#### ⑩決算報告

和泉理事は財務諸表について、貸借対照表の預り金 347,500 円は、東大阪部会において活動メンバーの活動費から被災地支援活動に備えるべく徴収して確保している財源であること、東大阪部会の貢献により黒字決算となったなど、説明。

小川理事長は数字に表れていない件として、木工部を廃部にした際の諸機材処分を立溝会員に依頼したところであるが、その費用について受け取りを拒否されている旨、報告した。

この件について秋岡監事は、その推測としてそのような雑収入の計上は、かえって立溝会員には迷惑になるのであろうと補足説明。一同、やむなくこれを承認するも、今後はこのような甘えは慎むべきであることを確認。

#### ⑪監査報告

秋岡監事から財務状況をよび会計処理についてその健全性の報告があり、一同承認。

### 3 平成 25 年度活動、予算計画（別紙資料）

#### ①木工活動方針

小川理事長から 24 年度活動報告に引き続き、今後は自由木工スタイルを徹底する旨の方針説明があった。

出席理事から、A-2 こどもカーニバル参加について、収益計上なく費用計上のみ表記されている件について、理事会・総会の承認が必要ではないかとの指摘があり、議論の末、前述の自由木工が子どもたちに及ぼす育成効果を、ふくてっく木工活動の意義あるミッションと評価し、そのための費用であるとの理事長の見解を承認し、予算計画通り、総会に諮ることとした。

#### ②住環境研究部会

住宅改修に対する、当会の基本方針について、これまでの運営会議等の議論を改めて振り返り議論。

住環境研究部会としては、積極的に住宅改修を課題とはしないが、ふくてっくに依頼ある事案についてはこれを無下に断ることはできないという観点で、その対応をふくてっく所属会員に適宜請け負わせることにしたところである。その割り振り役として、当時住環境研究部会リーダーであった畑理事が、その任を買って出たのであるが、現在は事情があって休部されている。

その後、そうした事案について、会が実務担当会員から“紹介料”を徴収するという計画が提議されたが却下された経緯がある。

その後、部会では、その体制や活動方針について議論が進められているが結論には至っていない。

理事会は、以上の状況を踏まえ、今後の部会のあり方については、小川理事長の部会再編構想の中で検討することとし、住宅改修実務に関しては、その議論から切り離して、本部事務局で一元的に対応することで合意決定した。

#### ③研修部会

鎌田会員にかわり、小川理事長が報告。資料提示が遅れた件について謝罪、内容については確実なものではないとの説明があった。

#### ④東大阪部会

清水理事から資料に沿って説明。7/13 運営会議で既に議論済みであり、異議なく承認。

#### ⑤こむねっと事業部会

中北理事から資料に沿って説明。上記同様に異議なく承認。

#### ⑥20周年記念事業委員会

清水理事から、7/13 運営会議での合意事項を受けて記念事業予算を増額見直していることが報告され、一同異議なく承認した。

#### ⑦部会再編構想と理事長まとめ

小川理事長は、部会再編提案について、予め関係会員への説明と意思確認をしてきた経緯を報告。その中で、一部会員には反対意見もあるが、大勢からは賛意を得ているので、計画を推進してゆきたいと改めて表明。

出席者からは、その意に賛同するなか、従前の部会の延長線上に、これらを単純に統合し、“本部預かり”とするような中途半端な方針ではうまくゆかないだろう、まずは、対象となる部会をいったん廃するくらいの英断が必要だ

との意見がだされた。また、基本方針として、東大阪部会やこむねっと事業部会のような明確な活動目的や方針を定めることは困難で、それよりも「誰もが参加できる」「すぐにやる」「何が起きるか予測できない（ビオトープのような）」といった提案がなされた。いずれにしても、どのような“場”としてだれがその牽引役を務めるかがキーポイントとならざるをえない。以上の議論を踏まえて、小川理事長は自らがその牽引役となることを宣言し、一同これを承認した。

⑧25年度予算

中北事務局長は資料に沿って報告する中で、遅れて予算提出あった研修部会については加味していないこと、全体として赤字予測としているが、20周年記念事業費支出による結果であることなどを説明、一同これを承認した。

4 役員改選について (理事会案)

退任する役員

本人希望および運営会議合意事項を踏まえ、畑、苅田、和泉各理事の退任を承認し、総会に提議することに決定。

新たに就任する役員

運営会議合意および、その後理事長から当該会員への勸奨経緯を踏まえ、曾我部千鶴子、岡道信 両会員を新任理事候補として総会に諮ることに決定した。

なお、監事については今回は改選時期ではないことを確認。

閉会の宣言

議長は、以上を持って予定の議事を尽くしたことを述べ、出席理事からその他に議案の発議がないことを確認したうえで、12:07に理事会の閉会を宣言した。

以上

議事録署名

議長

印

署名人

印

署名人

印